



第3師団 北海道へ長距離機動訓練 協同転地演習 (師団等転地)

第3師団(師団長 田中陸将)は、令和元年6月30日(日)から7月25日(木)の間、協同転地演習を実施した。



輸送艦「おおすみ型」への車両搭載

本演習では、第3師団長を訓練担任官として、北部方面隊区への陸上、海上及び航空の各種輸送手段を併用した長距離機動及び北海道の矢臼別演習場等での4コ部隊同時検閲が実施された。
7月3日(水)、舞鶴東港北吸岸壁(京都府舞鶴市)で、輸送艦(おおすみ型)への車両等約60両の搭載状況が報道公開され、浜大樹訓練場到着後に海上自衛隊のエアクラッシュン艇を使用した揚陸訓練が実施された。
7月10日(水)から16日(火)の間では、第36普通科連隊、第3特科隊、第3戦車大隊、第3飛行隊の検閲がなされた。初めて見る制約のない大演習場で、事前に作成した計画を現地地形に適合修正し、実際のな尺度に基づく部隊行動の練度を向上させることができた。
その後、FH-70等による遠距離実弾射撃を実施し、約4週間の転地演習で様々な練度を向上させた。

「人員約2,600名、車両約850両、航空機4機が北海道で訓練」

方面総監統率方針
任務の完遂

発行所
〒664
-0012
電話…072(728)0001
陸上自衛隊
中部方面総監部広報室
兵庫県伊丹市緑ヶ丘7-1-1



検閲におけるFH70の実射 (第3特科隊)



軽対戦車誘導弾で応戦する隊員 (第36普通科連隊)



感染拡大予防のための個人除染

第10師団(師団長 鈴木陸将)は、6月29日(土)、愛知県西尾市、7月3日(水)、岐阜県恵那市で発生した豚コレラに対し各県知事からの災害派遣要請を受け、今年度5回目及び6回目となる豚の殺処分等支援を実施した。
両県併せて、約1万2千頭の殺処分等支援を行い、7月2日(火)及び7月5日(金)愛知・岐阜県知事からの撤収要請を受け各々の派遣活動を終了した。

災害派遣

第10師団

豚コレラ (岐阜県・恵那市) (愛知県・西尾市)



殺処分された豚の搬出



作業を終え現場を移動する隊員

「第14旅団、中部方面航空隊、方面会計隊が訓練参加」

第10師団

第1次師団統制訓練

「部隊行動を演練」

第10師団（師団長 鈴木陸将）は、7月17日（水）から23日（火）までの間、北富士演習場等において、第1次師団統制訓練を実施し、連・大隊以下の各種行動、特に偵察戦闘大隊及び普通科連隊の基礎となる部隊以下の行動を演練した。

7月17日（水）には、東富士演習場において、第33普通科連隊による拠点占領から重要目標襲撃までの展示を行い、関係部隊のイメージアツプを図った。

練成訓練では、偵察部隊及び襲撃部隊としての行動を計2回、2夜3日の一連の状況下で演練し、偵察戦闘大隊による敵警戒陣地に対する威力偵察等を16式機動戦闘車をを用いて実施すると共に、各普通科連隊による重要目標に対する攻撃を実施した。

岸川総監は、7月18日（木）、現地視察に訪れ、偵察戦闘大隊本部、演師団司令部を視察し、地域配備師団の行動、情報部隊の運用状況等を確認し、参加部隊の隊員を激励した。



威力偵察を行う16式機動戦闘車



総監視察

野戦特科部隊の機動展開・射撃訓練

第13旅団

「日出生台演習場で

射撃能力の向上」

第13特科隊・第13高射特科中隊

第13旅団（旅団長 山根将補）は、7月7日（日）から14日（日）までの間、日出生台演習場（大分県玖珠郡玖珠町）において第13特科隊（隊長 中川1佐）、第13高射特科中隊（中隊長 荒川3佐）に対し、令和元年度第1次旅団訓練検閲及び第13特科隊実射訓練検閲を実施した。

各部隊は、日本原駐屯地において隊容検査を受けた後、日出生台演習場に前進した。その後、第13特科隊は、旅団の火力戦闘部隊の骨幹として、普通科連隊の任務達成のため密接かつ継続的に火力支援を行った。

第13高射特科中隊（中隊長 荒川3佐）は、演習団唯一の対空戦闘部隊として空域の安全を確保し、演習団の任務達成に貢献した。高射特科隊の検閲後、第13特科隊の実射訓練検閲が実施され、各種状況下における榴弾砲射撃（FH-70）の練度を向上させた。



対空戦闘（近SAM）



対空戦闘（短SAM）



雨天の射撃（FH-70）



射撃諸元を算定（FDC）

中部方面特科隊、第14後方支援隊、第14高射特科隊、第14特殊武器防護隊 第14旅団

あいは野で第1次旅団検閲

第14旅団（旅団長 小和瀬将補）は、6月25日（火）から7月1日（月）までの間、あいは野演習場で、旅団隷下4コ部隊に対する、第1次旅団訓練検閲を実施した。

受閲部隊は、酷暑に続き小雨が降りしきる厳しい気象条件の中、部隊長を核として与えられた任務完遂のため躍動した。

中部方面特科隊（隊長 内野1佐）は、旅団の火力部隊として、強靱な火力戦闘を發揮できる練度を向上させた。第14後方支援隊（隊長 山本1佐）は、兵站及び衛生部隊として旅団の作戦行動の生命線を支えられる練

度、第14高射特科隊（隊長 村上2佐）は、対空戦闘部隊として旅団の行動の自由と安全を確保できる練度を各々向上させた。

また、第14特殊武器防護隊（隊長 田中1尉）は、迅速な検知除染をもって演習団の作戦を支えられる練度を向上させた。



MCV整備（14後支）



迅速な射撃（方面特科隊）



近SAM発射機（14高特隊）



検知活動（14特防）

中混団訓練検閲 第49普通科連隊

中部方面混成団（団長 芝1 佐）は、7月9日（火）から13日（土）までの間、あいは野演習場において、第49普通科連隊（連隊長 前野1佐）の訓練検閲を実施した。

本検閲では、常備自衛官の他に、即応予備自衛官約330名が、受閲部隊及び對抗部隊として参加した。

連隊は、演習団の作戦に最大限寄与するべく、限られた防衛準備期間の中で一丸となって所要の偵察を行い火力・施設器材等の調整を綿密に実施した。

防衛戦闘においては、障害と連携した組織的な火力を発揮して、強靱な防衛戦闘を行い、演習団の任務遂行に最大限寄与できる練度を向上させた。



防衛戦闘における陣地侵入

敵情監視



防衛陣地構築

離脱掩護射撃

高知	愛媛	香川	徳島	山口	広島	岡山	鳥取	和歌山	奈良	兵庫	大阪	京都	滋賀	三重	愛知	岐阜	福井	石川	富山	
地方協力本部	地方協力本部	地方協力本部	地方協力本部	地方協力本部	地方協力本部	地方協力本部	地方協力本部	地方協力本部	地方協力本部	地方協力本部	地方協力本部	地方協力本部	地方協力本部	地方協力本部	地方協力本部	地方協力本部	地方協力本部	地方協力本部	地方協力本部	地方協力本部
2曹	1曹	3曹	曹長	2曹	2曹	2曹	1曹	2曹	曹長	曹長	2曹	曹長	2曹	2曹	2曹	1曹	曹長	曹長	2曹	2曹
岡田	山本	稲垣	片岡	橋本	加藤	小西	渡部	三島	田中	並井	川端	小宮	蕨野	中川	松本	徳永	北村	伊藤	善入	山田
道大	洋一	伸幸	勝彦	興仁	秀樹	裕介	晃宏	基広	能彦	康晃	大勝	賢明	友輔	学	克士	博英	照文	隆文	隆文	隆文

「空自と協同 対空戦闘能力の向上」

第8高射特科群（群長 小山1佐）は、7月15日（月）から19日（金）までの間、方面隊対空戦闘訓練を空自小松基地等において担任・実施した。

本訓練では、空自小松基地において実機（F-15戦闘機等）に対する対空戦闘と対空レーダーによる対空監視要領について演練した。

また、青野原駐屯地においては、対空戦闘指揮装置と空自入間基地の指揮装置を接続し、防空包内の連携要領について演練し、所望の成果を得た。



P-14レーダーの射撃準備



対空戦闘（空自と連携）

第8高射特科群

方面対空戦闘訓練

優秀地本等表彰

方面総監部は、7月24日（水）、平成31年度募集業務において、優秀な成果を収めた地方協力本部及び優秀広報官等の表彰を実施した。

【第2級賞状（陸上幕僚長）】
 福井地方協力本部、京都地方協力本部、大阪地方協力本部、鳥取地方協力本部、島根地方協力本部、広島地方協力本部、香川地方協力本部

【褒賞（陸上幕僚長）】
 愛知地方協力本部

【第3級賞状（中部方面総監）】
 愛知地方協力本部

【第4級賞状（中部方面総監）】
【優秀広報官】
 富山地方協力本部 曹長 山田 隆文
 石川地方協力本部 曹長 善入 照文
 福井地方協力本部 曹長 伊藤 博英
 岐阜地方協力本部 曹長 北村 克士
 愛知地方協力本部 曹長 徳永 学
 三重地方協力本部 曹長 松本 友輔
 滋賀地方協力本部 曹長 中川 賢明
 京都地方協力本部 曹長 蕨野 浩
 大阪地方協力本部 曹長 小宮 大勝
 兵庫地方協力本部 曹長 川端 康晃
 奈良地方協力本部 曹長 並井 能彦
 和歌山地方協力本部 曹長 田中 基広
 鳥取地方協力本部 曹長 三島 晃宏
 島根地方協力本部 曹長 渡部 裕介
 岡山地方協力本部 曹長 小西 裕章
 広島地方協力本部 曹長 加藤 秀樹
 山口地方協力本部 曹長 橋本 興仁
 徳島地方協力本部 曹長 片岡 勝彦
 香川地方協力本部 曹長 稲垣 伸幸
 愛媛地方協力本部 曹長 山本 洋一
 高知地方協力本部 曹長 岡田 道大

國分防衛大学校長 来訪



防衛大学校長との懇談

防衛大学校長、國分良成氏は、7月8日（月）総監部を訪れ、総監表敬後、防衛大学卒業生12名と近況の確認や進化する防衛大学教育について懇談し、中部方面隊で活躍する教え子たちを激励した。

山田政務官 防府分屯地を訪問



担当者から説明を受ける政務官

中部方面隊（防府分屯地）は、7月1日（月）、山田防衛大臣政務官の視察を受けた。政務官は、概況説明により部隊の現況を把握するとともに、施設等を巡視し、部隊が保有するUH-1Jの性能等の説明を受け、巡視後は分屯地司令等を激励して視察を終了した。

ふあみさぽ通信 (連載:第32回)

今津駐屯地業務隊

今津駐屯地は、滋賀県北部(湖西・高島地区、湖東・長浜・彦根地区)を担当地域として、関係部外団体(滋賀県自衛隊家族会高島地区協議会・滋賀県隊友会高島支部)と連携した家族支援施策に取り組んでいる。

特に、平成28年度以降、滋賀県自衛隊家族会高島地区協議会との会合を積み重ねている。そして、安否確認ニーズに対する家族会会員の割り当てや駐屯地行事等での隊員家族との顔合わせ、南海レスキュー訓練に併せた実動による安否確認訓練を行ってきた。また、毎年恒例の家族会主催「そば打ち道場」においては、そば打ちの体験を通じ、隊員家族と家族会会員との和やかな雰囲気の中で、両者の絆を深めてきた。

30年度からは、滋賀県隊友会高島支部とも連携を開始し、10月には大津駐屯地業務隊と「家族支援に関する協定」についての担当者会同を行った。関係部外団体との効率的な協定締結に向けて議論を重ね、滋賀県における家族支援施策の方向性を確認することができた。



隊員家族との顔合わせ



そば打ち道場

今後、駐屯地所在部隊・隊員へ本施策の普及を図り、更なる家族支援施策充実のため、関係部外団体との連携強化に努めていく所存である。

俺を見ろ



中部方面通信群
本部中隊長
(伊丹駐屯地)
3等陸佐
本田 崇

「創意工夫」

通信群本部中隊長の職を拝命して3年目となります。この間、隊員一人一人の努力により数々の任務を完了することができたと感謝しています。

本部中隊の最大の特徴は、映像写真業務です。近年は、状況判断の資として映像が重視されており、最大級の目標としています。そして、隊員に「創意工夫」を要望して任務に邁進しています。

特に、ヘリ映像伝送は、撮影ニーズが入れば一秒でも早く飛び立たなければなりませんので、通信科隊員としても平素からの物心両面の準備が如何に大切かを感じています。

また、ヘリ映像伝送の受信エリア拡大のため、防衛マイクロ回線の中継所を活用した、より鮮明な映像が伝送できる送路を開拓しました。昨年発生した大阪北部地震や、平成30年7月豪雨の際、被災状況を速やかに映像伝送でき、派遣部隊の活動に寄与できました。

各部隊にも初動用リアルタイム簡易映像伝送装置や災害用ドローンが逐次導入されています。各級指揮官の状況判断の資となる映像を「創意工夫」により各部隊と協力しつつ即動任務を全うするよう引き続き努力します。

うちのご飯 「伊丹駐屯地」



ホルモンうどん

きらめき
☆☆☆☆☆☆
レディー

伊丹駐屯地は、兵庫県伊丹市に所在しています。伊丹市は江戸時代から酒造が盛んで、現在も「老松」や「白雪」の酒造があります。

数あるメニューの中で、伊丹駐屯地の隊員から絶大な人気を誇るメニューは「ホルモンうどん」です。もともとは「ホルモン汁」というメニューでしたが、隊員からもっと食べたいという意見を受けて、汁物から主菜として格上げしました。(ホルモン汁も引き続き提供しています!)ホルモンの量だけでなく、野菜の種類や量も増量し、喫食者の満足度と栄養管理の両方の面において満足できるメニューとなっています。

作り方にもホルモンが小さくならないよう工夫をこらしており、さつと湯通しした後にスープに漬けて込んでホルモンにも味がしみ込むようにしてあります。

このほかにも他駐屯地のメニューの導入や月に一回の「唐揚げ選手権」の実施など喫食者が楽しみながら食事ができる環境づくりに取り組んでいます。伊丹駐屯地へお越しの際は、ぜひご賞味ください。

私は平成30年4月に自衛官候補生として入隊し、現在は迫撃砲小隊の弾薬手として勤務しています。



第46普通科連隊
(海田市駐屯地)
1士 原田 紗弥加



剣道稽古

今年、一月に迫撃砲の初級特技を取得しました。他の業務と重なり砲訓練がなかなかできず、練成期間も限られたなかで、先輩隊員の指導を受けながら砲手としての動作を何度も練成しました。

試験当日は、すごく緊張して不安な気持ちがありましたが、一緒に練成した同期と丁寧に分かりやすく教えて下さった先輩隊員の言葉を思い出し、検定を無事一回で合格することができました。

私は、この訓練を通じて皆で協力することの大切さや練成訓練の重要性を痛感しました。私生活では、父と兄の影響で小学三年生から剣道を続けています。最近では、兄達と予定を合わせ、稽古に行つて勝負して楽しくやっています。今まで一度も兄達に勝つたことがないので、もっと稽古を積み強くなり勝てるようになりたいと思います。

これからの自衛隊生活では、自ら人とのコミュニケーションをとるといった自分が苦手としていることを克服し、もっと訓練など色々な事に積極的に参加するとともに、迫撃砲隊員としても社会人としても成長していきたいと思っています。



平成30年度中部方面隊ナンバーワン戦士

体力検定

(男子:陸士の部)第1位

第15即応機動連隊

第2普通科中隊

士長 山内 凌

腕立て伏せ
115回
膝半屈腹筋
101回
3000m
9分48秒